

特集

取組もう！地球温暖化防止のために

市の取組

「常陸大宮市地球温暖化対策実行計画」は、市役所が行う事務・事業活動に対し、温暖化防止のための対策を含む環境保全行動を推進するために平成19年3月に策定しました。

市役所はOA機器の使用、公用車の利用、文書の作成・廃棄、公共工事の実施、物品の購入など、日常業務において大量の資源やエネルギーを消費し、大量の廃棄物を排出するなど、相当量の環境負荷を与えています。

こうした立場を踏まえ、率先して環境保全の取組を進めることにより、自ら与える環境負荷を軽減するとともに、市民・事業者の模範となり、地域と一体となって環境保全に取組んで

いく必要があると考えています。温室効果ガスとは、二酸化炭素・メタン・亜酸化窒素・フロンなどの地球に温室効果をもたらすガスをいいますが、市役所の場合排出源別の内訳図を見てみると温室効果ガスの約99・5%を二酸化炭素が占めています。つまり、二酸化炭素の削減が温室効果ガスの削減につながり、特に電気の使用に伴う二酸化炭素の排出が約64%と多いことから、電気使用量の削減が温室効果ガス削減に最も重要になります。

本計画は、平成17年度の実績を基準に、5年間で5%以上の削減を目標にしています。

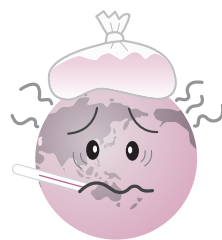
温室効果ガスの排出量

温室効果ガスを排出する活動		平成17年度	平成19年度	
		排出量 単位：kg-CO ₂ * %	排出量 単位：kg-CO ₂ * %	
二酸化炭素	燃料の使用	ガソリン	266,282 (6.9%)	256,387 (7.1%)
		軽油	169,298 (4.4%)	163,744 (4.5%)
		灯油	536,602 (13.9%)	500,999 (13.8%)
		A重油	298,371 (7.8%)	250,404 (6.9%)
		LPG	111,553 (2.9%)	127,261 (3.5%)
	電気の使用	電気	2,445,176 (63.6%)	2,313,125 (63.7%)
メタン	公用車の走行	647 (0.0%)	649 (0.0%)	
一酸化二窒素	公用車の走行	13,662 (0.4%)	13,716 (0.4%)	
HFC	カーエアコンの使用	3,335 (0.1%)	3,218 (0.1%)	
総排出量		3,844,926	3,629,503	

() は総排出量に占める割合

*kg-CO₂とは…排出量を表す単位で、温室効果ガスを二酸化炭素に換算したときの単位です。

左の表は温室効果ガスの排出量を排出源別に表した表です。平成19年度の二酸化炭素の排出量は、5・6%の削減。また、経費に換算すると約3,400万円の削減に相当し、2年間で目標を上回る結果をだすことができました。



エネルギー及びCO₂削減対策事業

市では住宅用太陽光発電システムや二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)を設置する方に補助金を交付しています。今までに、太陽光発電システムは138基、495・13kW分に補助を行ってきました。これは1年間に約89トンの二酸化炭素を削減する効果があります。エコキュートは355基で約291トンの削減効果があり、合わせれば年間380トンもの二酸化炭素を削減してまいります。

(平成20年10月1日現在)

また、この他にもアイドリングストップの推進や小中学校への雨水利用施設の設置を行っています。

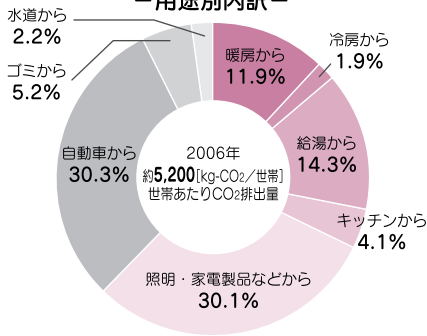
アイドリングストップの推進では、宣言をしていただいた工場、スーパー、コンビニ等の駐車場に看板を設置し、駐車時のエンジンの停止を呼びかけています。



雨水利用施設は、校舎の屋上に降った雨水をタンクに貯めておき、花壇の水やり等に利用するもので、これまでに小中学校合わせて8校に設置しました。

家庭からの二酸化炭素排出量

—用途別内訳—



■ ■ ■ 私たちができる取組 ■ ■ ■

二酸化炭素は皆さんの家庭のさまざまなところから出ています。照明・家電製品といった電気を使うところが一番多く、次に自動車、給湯、暖房の順で多くなっています。身の回りの小さなことから、省エネを心がけましょう。

自分の買い物袋
をもっていく



リサイクル商品
を購入する



再利用瓶を使う



洗剤や化粧品などは、中身の
詰め替えができるものを選ぶ

壊れたときは修理してで
きるだけ長く使用する

エネルギー効率の良い
家電製品を選ぶ

燃費の良い車を選ぶ

包装の少ないものを選ぶ

お買い物編

ものを買うときは必ず、必要かどうかを考えます。増やさない、買わないことが原則ですが、購入するときにはできるだけ、環境に配慮した製品についているマークを参考にグリーン購入を心がけましょう。

グリーンマーク

省エネ性マーク

エコマーク

PETボトルリサイクル
推奨マーク

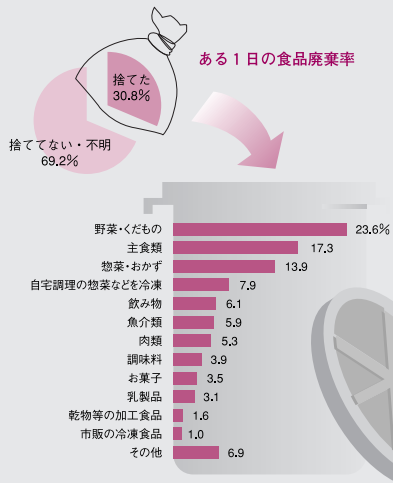


食べ物編

ゴミ処理には運搬や焼却などでエネルギーが消費されます。

ひと盛りいくらのまとめ売り。つい安いからと買ってしまい結局は捨てられる食品がたくさんあります。生鮮食品は鮮度が落ちると栄養価も低下します。量り売り、バラ売りなどで使いきる量、食べられる量を買きましょう。

食品廃棄物は燃えるごみとして回収、焼却され、残灰は埋め立てられます。“ごみを買わない”ライフスタイルを大事にしましょう。



くるま編

自動車の利用による二酸化炭素排出量も増加しています。自動車の燃費はよくなっていますが、自動車の保有台数や、交通量の増加がその原因となっています。

★アイドリングストップやエコドライブを心がけよう
エコドライブ4つのポイント

適正空気圧→空気圧不足（マイナス0.5kg）のタイヤで50km走ると約150ccの燃料を浪費

身軽な運転→10kgの不要な荷物をのせて50km走ると約15ccの燃料を浪費

ふんわりアクセル
「eスタート」→急発進10回で約170ccの燃料を浪費

やさしい
アクセル操作→エンジンを空ふかしすると、10回で約60ccの燃料を浪費（2,000ccオートマチック乗用車の燃費（10.15モード＝11.7km/ℓ）の計算）

★公共交通機関を使おう

★近いところは自転車か歩いていこう

